高校阿倍野新聞
発行所
大阪府立阿倍野高校
新聞部

文化祭への第一歩

六月一日二日 映画会

文化部会主催の映画会が六月一日(木)・二日(金)の両日、第六限目から二時間講堂にて予定されている。上映される映画は、木曜日のH・Rで報告のあった最り「新どろぼう学級」である。文化部会では、今学期にも定してていた屋新聞作りが行事などが多くてH・Rをうまく利用できないといった理由から、また定員みが能にあり、また、取行されるべき新しい試みも発案されるなかったことの非年と同様、映画会が実施されることとなった。

「新どろぼう学級」というお話のものは、先生の方から提案されたものらしいが、内容を十分検討した上で、文化祭ハイライトプログラムとしての映画会に適当であると決議された。

文化部会では、この映画を通じて、人と人とのふれあいや、楽しい会つ、の大切さを感じ、そしてもちろんH・R活動や文化祭にその成果を生かしてほしいと「こいる」。また、すでにこの映画をご覧になった先生も、「みんなもこれを高校を出て、進学・就職する年にぶつかる問題に自分ひとりで悩むのではなくて、仲間の励ましや支えによって解決していくということを学んでほしい。そして、親友とは何か？仲間とは何か？生きるとは何なのかということを考えてもらいたいとおっしゃっていた。

非年の映画を上映された「同じ」については、ただ見るだけにおわってしまったようだが、今年の映画会は、それを単なるリクレーションと考えるのではなく目的を持った行事として、じっくりと鑑賞し、また、そのあとH・Rであるいは友達同士で、自分の感じたことや考えさせられたことなどを話し合ってみてはどうだろうか。

月曜の議会に注目

「アマ無」クラブ昇格なるか

去る一月[illegible]日、委員会から同[illegible]チュア無線が正式に[illegible]月)の議会の承認を得てクラブとしての昇格をしたいとの申請をしてきた。しかし、非年の六月に開催[illegible]に関する調査を行った結果影響がないとわかったもし、影響が出た場合、直ちに原因を調べて、出の度ごとによって処理していくという方針を出して、着々と[illegible]つまり[illegible]の準備に進めていた。

さて、一年生は来年のS・H・Rで、二・三年生は五月十二日(金)の各H・Rで昇格に賛成を得ようとしたところ、多数決をとると答えるクラスは二クラスだけだった。そのうちミクラスは三年生で、反対理由としては「クラブに[illegible]

[illegible]ないことを言っている。

アマ無の会長大塚君は「クラブになれば予算がおりるので、もっと活発な活動ができる。これからはマイクロコンピューターについてやっていきたい」といっていた。

クラブ近況

クラブ名	日時	内容	結果
ラグビー	4/29	対千里高校	22-4 勝
〃	5/3	対島本高校	34-0 勝
軟式テニス	5/5	公式戦	
サッカー	4/29	対住吉高校（公式戦）	1-3 負
〃	5/7	対勝山高校	3-2 勝
〃	5/14	対西成工業高校	0-0 引
野球	5/4	対松原高校	5-2 勝
卓球	5/4	大阪市高等学校選抜大会(女3ダブルス)	1回戦で負け
剣道	6/4	インターハイ　予選	
軽音フォーク	5/18	3年解散コンサート(視聴覚室)	
〃	6/10	3年解散コンサート(講堂)	
〃	6/24	1・2年コンサート（〃）	
ESS		外人ハントの予定	

針の穴

時々、扉を開けると、タバコの煙が充満していたため、思わずムセてしまう。トイレでの話である▼現在高校生の中に喫煙が広く浸透し、アベ高でもかなりの者が吸っているようである。そしてトイレに表われたものか▼本米名国では禁煙運動が盛んになっており、数年前にまでなっていると聞く。日本でも病気原因の第一位に喫煙が挙げられつつある▼つまり、タバコを吸って迷惑をかけるようなことだ。確かに、ムシャクシャしている時ついつい手を出したくなるのは人情だ。しかし、学校に来てまで吸う常習者になってはみしまいだ▼常習者ともなると、一時間もがまんできないというらしい。で学校まで来て吸うのなら、タバコをやめてしまうべきだ。なぜ三年の新東詰もたくさん出ている▼社会的なマナーを守れませんと、一人前にタバコをくゆらす。それがたとえ[illegible]でも、ゆるせるものでは[illegible]ない。アベ高でも禁煙運動を作ってもしかるべきだ。

(2) 昭和53年 5月20日（土曜日） 高校阿倍野新聞 第207号

統一テーマ検討中

今年も昨年同様、文化祭の統一テーマを決めることになり、現在文化クラブの代表者間でそれについての話し合いが行われている。

最初は展示関係等、各関係のクラブがそれぞれテーマについて審議していたが、ダメで全て自場合の混乱を考え、文化クラブ全体で決めることになった。

まず、統一テーマを作るにあたって考えられたことは、9月に文化祭という年間の文化クラブが中心となって行う行事の重要性をふまえ、文化クラブはもとより、一般生徒にも文化祭を成功させるための目標となる統一テーマを作る」ということである。そしてその考えに基づいて、文化クラブでは目標的にどんなテーマにするか話し合い、持ち寄られたクラブの意見をもとにテーマが決定される。

今各クラブから出されているのは、「どのクラブの活動にも適用できるものが多く統一テーマ決めるとはいっても、結局はそれぞれのクラブが自由にできるものを選ぼうとしている。もしそのようなテーマなら何のための統一テーマなのだろうか。もちろんそれぞれのクラブで活動が全く違うのだから、テーマを決めると困る場合がある。むしろない方が活発にできる場合もある。統一テーマを決めることには、こういう問題も残されている。のである。

金曜の協力で成功

一年宿泊行事

五月十二日八時過ぎ、一年生はバスに乗り、昭和町を出発した。幸い前の日の雨もあがり、汗ばむほどの好天気に恵まれた。クラス内での友好をはかるという目的で行われた宿泊行事である。場所は琵琶湖の東にある伊吹山で、この山は冬にはスキー場として多くの人たちに利用され、また、よもぎ」の産地としても有名である。

三山口で下車し、そこからリフトを乗り目に一合目まで登った。一合目にはいくつもの宿舎が建ちならんでいる。持参の弁当を食べた後、ぼつぼつと飯盒炊さんの用意。一クラス六班に分かれてカレーライスを作った。できばえにかかわらず、どの班も協力してやったということに意義があった。

夕食後はクラスごとでリクリエーション。よもぎもちをついたり歌を歌ったり……。時間はまたたく間に過ぎていった。

二日目の十三日、七時三十分、ろう宿舎を出発し、登りはじめた。二合目まではなかなか傾斜がきつく、かなり苦しかった。二合目で一度休憩し、以後は並んで登ったので案外楽だった。

帰りのバーではさすがに疲れたせいか初日はどのにぎやかさはなかった。三人ずつ、昭和町の二ヶ所で停車し、それぞれの場所で解散した。天気も良ほとんどの生徒が参加できてほんとうに楽しい行事であった。また、その陰にある宿舎の方々の温かい心づかいへの感謝を忘れてはならないと思った。

クラブ紹介

今回のクラブ報告は、生物部を取り上げてみた。

部員数は現在、三年生三人、二年生三人、一年生三人の計八人であり、活動日は月曜日から土曜日まで毎日である。

最近の生物部の活動内容は、機関誌の制作をしたり、ハムスターの飼育をしることなどである。機関誌には、『ラベル』というタイトルがついていて、今回にかぎり機関誌があるとわかってもらうためのものである。そのほか、生物部の庭には、みかんやびわの木が植えてあり、今年初めていちごの実ができた。このみかんやびわは、主に部員の食用に使われている。

小動物への愛情

No.2 生物部

生物部で一番最初に気づかれるのは、生物室の展示室の前に毎年作られる小動物屋である。これには池があり、池の中には金魚などでいて、大変興味深いものだ。

最後になったが、生物部から一般生徒への希望である。一年生に限らず、二、三年生の人たちも是非入部してほしいということ、もう一つは生物部の活動といっても難しいものではなく、だからだれでも気軽に見に来てほしいということであった。

新聞部へどうぞ

研修旅行計画中

編集後記

我が新聞部の一年生が、先輩たちに混じって、記事なるものを書きはじめ、この新聞が出来上がりました。読みづらい記事があるならばそれは不慣れな一年生が書いたものだと思って下さい。

しかし、これからは良き先輩たちのアドバイスを受けて先輩のように、いやそれ以上のより良い新聞を作り上げていきたいと思っています。

さてもうすぐ恐怖の中間考査が始まります。一年生にとっては中学生の頃と違って量がグッと多くなり一夜漬けなどではとてもとても無理になります。

できるだけ日々、自主試験対策を。